

解剖生理学

[講義] 第1学年 前期 必修 2単位

《担当者名》下村敦司 shimo@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

言語聴覚療法の対象となる障害や病態、さらに言語聴覚療法学を理解するために必要となる、人体の構造と機能を系統的に学ぶ。

【学修目標】

<一般目標>

人体を構成する細胞や組織、骨、筋および脳の解剖学と生理学を総合的に学び、生体の構造と仕組みについて知る。

<行動目標>

1. 人体を構成する階層構造について説明できる。
2. 細胞および組織の構造と機能について説明できる。
3. 骨格系の構造と機能の概要について説明できる。
4. 筋系の構造と機能の概要について説明できる。
5. 主要な骨格筋による関節運動が説明できる。
6. 脈管系の構造と機能について説明できる。
7. 呼吸器系の構造と機能について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	細胞・組織・器官・系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の構成要素について学ぶ。 ・ 人体の階層構造について学ぶ。 ・ 細胞の構造と機能について学ぶ。 	下村敦司
2	細胞・組織・器官・系 人体についての用語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の構造と機能について学ぶ。 ・ 人体の用語について学ぶ。 	下村敦司
3	骨格系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 骨の基本構造について学ぶ。 ・ 骨の骨代謝と骨形成について学ぶ。 ・ 骨の連結について学ぶ。 ・ 関節運動について学ぶ。 ・ 頭蓋の骨格構造について学ぶ。 ・ 頭蓋を構成する骨について学ぶ。 ・ 顎関節の関節運動について学ぶ。 	下村敦司
4	骨格系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脊柱と胸郭の骨格構造について学ぶ。 ・ 脊柱と胸郭を構成する骨について学ぶ。 ・ 脊柱と胸郭の関節運動について学ぶ。 ・ 上肢と下肢の骨格構造について学ぶ。 ・ 上肢と下肢を構成する骨について学ぶ。 ・ 上肢と下肢の関節運動について学ぶ。 ・ 骨盤構造の男女差について学ぶ。 <p><宿題> 上肢および下肢の骨格に関するまとめのレポート</p>	下村敦司
5	筋系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 骨格筋の基本構造について学ぶ。 ・ 筋収縮の仕組みと種類について学ぶ。 ・ 運動路の構造と機能について学ぶ。 ・ 運動単位と神経支配について学ぶ。 	下村敦司
6	筋系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頭部の筋の構造、作用、支配神経について学ぶ。 ・ 頸部の筋の構造、作用、支配神経について学ぶ。 ・ 背部の筋の構造、作用、支配神経について学ぶ。 ・ 胸腹部の筋の構造、作用、支配神経について学ぶ。 	下村敦司
7	筋系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上肢の筋の構造、作用、支配神経について学ぶ。 ・ 下肢の筋の構造、作用、支配神経について学ぶ。 <p><宿題> 上肢および下肢の筋に関するまとめのレポート</p>	下村敦司
8	脈管系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心臓の構造を学ぶ。 ・ 心臓の動きと血液循環について学ぶ。 	下村敦司

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・心臓大血管の構造と機能について学ぶ。	
9	脈管系	・心臓の刺激伝導系について学ぶ。 ・心電計の原理と心電図の各波形の意味について学ぶ。	下村敦司
10	脈管系	・血管の構造と機能について学ぶ。 ・脈拍の仕組みについて学ぶ。 ・血圧と血圧調節の仕組みについて学ぶ。	下村敦司
11	脈管系	・体循環の血管系の構造と灌流域について学ぶ。 ・肺循環の血管系の構造と灌流域について学ぶ。	下村敦司
12	脈管系	・脳循環の血管系の構造と灌流域について学ぶ。 ・リンパ系の構造と機能について学ぶ。 ・リンパの循環について学ぶ。	下村敦司
13	呼吸器系	・呼吸器系の構造と機能の概要を学ぶ。 ・鼻腔および副鼻腔の構造について学ぶ。 ・気管および気管支の構造について学ぶ。 ・喉頭の構造について学ぶ。 ・胸腔と肺の構造について学ぶ。	下村敦司
14	呼吸器系	・安静時呼吸運動について学ぶ。 ・努力性呼吸運動について学ぶ。	下村敦司
15	呼吸器系	・ガス交換の仕組みについて学ぶ。 ・ガス運搬の仕組みについて学ぶ。 ・動脈血酸素飽和度および換気機能について学ぶ。 ・肺気量と呼吸位について学ぶ。 ・呼吸調節について学ぶ。	下村敦司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）80%、宿題・課題 20%

【教科書】

医療情報科学研究所 編 「からだが見えるー人体の構造と機能ー 第1版」 メディックメディア 2023年

【参考書】

坂井建雄 他 編 「人体の正常構造と機能 改訂5版」 日本医事新報社 2025年
Michael Schuenke 他 著 「プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部 第2版」 医学書院 2018年
Michael Schuenke 他 著 「プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第3版」 医学書院 2020年
Michael Schuenke 他 著 「プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第3版」 医学書院 2019年
医療情報研究所 編 「病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版」 メディックメディア 2017年

【備考】

1. 授業に関わる連絡、授業資料の配信、学習課題の提示
 - ・ 授業に関わる連絡はGoogle Classroomまたはi-Portalを利用する。
 - ・ 資料の配信はGoogle Classroomを利用する。
 - ・ 学習課題の提示はGoogle Classroomを利用する。
2. 授業に関する意見交換
 - ・ Google Classroomを利用する。
3. 授業の理解度把握
 - ・ Google formsによる小テストを利用する。

【学修の準備】

「解剖生理学」は言語聴覚学専門科目につながる重要な科目であり、さらに覚えることが非常に多い。そのため、予習・復習を欠かさずに行うことが必要である。

予習は、次回の授業内容について、教科書、参考書あるいは授業で配布された資料を読んで理解に努めること（80分）。

復習は、教科書、参考書あるいは授業で配布された資料、さらに授業でとったメモに基づき十分に理解を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(2026年度・リハビリテーション科学部)

(DP2) 言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している